

六 被甲ノ底徐ニ出火セルモアリ濕度多キ現地ノ特産ニ錫ニ過
 切ナラス各部隊カカルコトナキ様検査ヲ勵行ノコト
 七 自今兵團司令部ノ旅團司令部ノ各本部ニ出ス勤務兵ハ必
 携帶口糧乙ヲ整備携行セシムルコト
 八 各部隊ハ兵團司令部ニ差込ス勤務者ノ選定ニ注意セラレ度
 高級將校ハ高番中浴ヲ共ノ用ヲ爲サバムモノ又八月以降病
 弱ハ爲交代セシムルハ各ナリシガ如キハ適當ナラス
 九 昭和十八年第一次採用幹部候補生ノ取扱ニ關シ疑義アル
 尙キアルモ八月五日石師團人高第一八三號 見習士官タル幹部
 候補生ヲ現役ノ實役ニ就カシムル件ニ通牒ニ基キ見習士官下
 ナリタル曰ヲ以テ之ヲ現役ノ實役ニ就カシムル未ダ現役ノ實役
 ニ就キアラザルモノハ陸軍機密第三三五號後令ノ曰天月二十五日
 トセラレ度
 配布先 中隊迄 各部隊

將校
 及
 部

第七六號

石兵團會報

十月二十五日 大
 浦添國民學校

遺骨(遺留品)ハ十月二十五日球部隊本部ニ護送セシムル豫
 定ニシテ同日當部ヨリ自動車ヲ差出スヲ以テ各隊ハハ
 近ニ規定ニヨル包装整備、上還送準備ヲ完了シ置カレ度
 關係部隊ハ白布ハ本日送付セリ
 石第三五九五部隊ニ今次入隊初年兵一離隊セリニ十日
 日夕點呼ニ居ラタルモ日朝點呼ニハ不在ニシテ該兵ハ私物ヲ
 着用シテ離隊セリ
 各隊ハ昭和十九年度初年兵教育及取扱ニ關スル注意ニ示セル
 事項ヲ守リカハルコトナキ様注意ノコト
 某隊陸軍等兵某ハ十月二十日外出先(軍人會館)ニ於テ飲酒
 酩酊シ歸隊ニ際シテハ衆人環視中ニ路ニ倒ルノ醜態ヲ演ジ
 戰友ニ名ヲ助ケラレ遂ニ前田附近ニ歸ラントスル地才馬車ニ乗車

上旬隊ニ歸隊スルニ至リタリ
 再三兵團會報等ニ於テ注意セシニモ拘ラス此ノ種軍人トシテ
 アルマジキ行動アリタルタメ遂ニ所屬中隊長ハ本人ヲ懲罰
 處分ニ附シタリ
 一般ニ現下ノ状況上此ノ種行為ハ依戰行動ヲ阻害スルモノト言
 スク嚴戒ノ要アリ

配布先中隊迄各部班

連

石兵團會報

十月二十一日
 洞添國民學校






一 本年十月靖國神社臨時大祭ニ當リテハ新祭神遺族ノ東京
 招待ヲ取テ附表(省略ス概テ聯隊區司令部所在地)ニ示ス
 式典舉行地ニ招待シ招魂式遂行等ノ行事ヲ執行スル下ト
 ナリタリ

新聞ヨレバニニ日招魂式ノ儀引續キニ五日例大祭ト併行セ
 新合祀ハニ萬百九十七柱内
 陸軍 一萬四千六百九十四柱(内皇屬百九柱ヲ含ム)
 海軍 五千五百三柱

二十月十日那覇ト嘉手納間(西海岸通リ)ニ於テ軍力ヲ拾得
 セル者ノ有無ヲ調査シ二十六日迄ニ報告ヲコト
 尚其際附近部落民ニモ區長等ヲ以テ調査ヲコト
 佐官ヲ勿緒ヲ附シアリ

副



1 6
 1 6






石第三五九一部隊 我如古東南端ニ移轉セリ

四 巡察ノ報告ニ依レバ左記ノ如キ件アリ

ノ十八日ニ三〇當山衛兵所司令藤村伍長(石第三五九四部隊)
以下五名服勞シアリシガ全員守則ノ理解不十分銃架ハ所要敷ルニ係
ス一銃ハ土間ノ水裏敷金ノ傍ニ置キアリテ整頓不良ナリ衛兵勤務ハ
一段肅正ノ要アリ

二 石第四三八部隊通信小隊ノ不寢番ハ暗夜一名宿舎ノ隅ノ道路ノ傍ニ坐
シ名ハ石垣ニ休憩シテ不寢番ノ任務ヲ果シテ入ルニ日石第三五九五部隊
ニ於テ毛日夕急呼時居リタル初年兵ガ次日ノ日朝急呼時ハ不在ニシテシカモ私
物服装ニ換ヘテ離隊セル狀況ニ鑑ミ一般ニ不寢番ノ勤務ヲ肅正セルノ要アリト認ム
三 廿八日〇〇頃軍醫部内田兵長ガ事務室前ニ於テ木銃ヲ握リ高聲ニテ
近ク十字路ニ地方人立聞クアル狀況ニ對シ警目ヲ検査ス結果ニシテ稍
感情ニ走リテ兵ニ注意シアルハ一般ニ注意ノコトカカル際ハ環境整理
ノ要アリ

夕十七日一九〇〇仲間北方高地ヨリ見ルニ當山嘉敷西原部落ニ燈火
土ヲ見ル指導ノ要アリ

五 球第四〇二部隊 坂井春行 猿補生 割藪房生 上等兵ハ空襲
警報下民家宿舎内ニ假眠シ白襦袢袴下ヲ露天ニ放置シ
アリタルハ注意ノ要アリ

配布先 中隊迄 各部隊